

## IBM Watson Discovery

以下に記載される場合を除き、IBM Cloud の「サービス記述書」の条件が適用されます。

### 1. クラウド・サービス

IBM Watson Discovery の「クラウド・サービス」は、シンプルなデータ取り込みエクスペリエンス、先進的な自然言語理解機能との統合、および統一された照会言語を提供することで、開発者がデータの中で、答えを発見しパターンを特定できるようにします。「クラウド・サービス」は、データとの対話のために 2 つの方法を提供します。

- BYOD (Bring Your Own Data: お客様データの持ち込み) では、お客様は、コレクションを構築して、自己のデータを取り込み、自然言語処理と照会のためのコンテンツ (以下「お客様コンテンツ」といいます。) で、それをエンリッチすることができます。
- 事前にエンリッチメントされたコンテンツでは、お客様は、事前に取り込まれ、自然言語処理機能によるエンリッチメントが施され、照会のために利用できる読み取り専用データ・ソース (「IBM のコンテンツ」) にアクセスすることができます。

#### 1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

##### 1.1.1 IBM Watson Discovery Standard

Standard は、IBM Cloud Public で適用される「クラウド・サービス」のマルチテナント・デプロイメントです。Standard デプロイメントでは、投稿された HTML/テキスト文書および一般にアクセス可能な Web ページのコンテンツ分析向けの REST API を提供します。「クラウド・サービス」は、お客様がカスタム・モデルをデプロイして言語処理のために使用できるようにします。かかるカスタム・モデルは別途請求されます。

- Standard デプロイメントは、Lite プランまたは Advanced プランで提供されます。

##### 1.1.2 IBM Watson Discovery Premium

Premium は、IBM Cloud Public で適用される Premium プランを備えた「クラウド・サービス」のシングルテナント・デプロイメントです。Premium デプロイメントでは、共有 IBM Cloud インフラストラクチャーにおいて、隔離されたストレージを備えた「クラウド・サービス」が提供されます。

### 2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

このサービスに適用される「データ・シート」および本条の条件には、このサービスの使用についての詳細および条件が規定されています。これには、お客様の責任が含まれます。以下の「データ・シート」が本サービスに適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=A1417A507E8211E6BA51E79BE9476040>

### 3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

#### 3.1 サービス・レベル・アグリーメント

本「SLA」は、「クラウド・サービス」の構築および構成に使用される「クラウド・サービス」の一部として提供されるツール・セットには適用されません。

本「クラウド・サービス」は、「クラウド・サービス」の「デプロイメント」モデルに基づいて異なるレベルの可用性を提供します。Standard デプロイメントは、可用性クレジットの対象にはなりません。IBM は、Watson Premium デプロイメントについては 99.9% の可用性 SLA を、また Watson Standard デプロイメントについては 99.5% の可用性 SLA を提供します。両デプロイメントは、高可用性として定義され、高可用性に対応するように構成されています。

高可用性の Premium 環境の 可用性サービス・レベル	高可用性の Standard 環境の 可用性サービス・レベル	クレジット
< 99.9%	< 99.5%	10%
< 99.5%	< 99.0%	25%

### 3.2 テクニカル・サポート

基本の IBM Cloud の「サービス記述書」に定められているサポート用語が、このサービスに適用されません。

## 4. 料金

### 4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- a. 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。
- b. 「アイテム」とは、「クラウド・サービス」の利用により管理、処理される、または「クラウド・サービス」の利用に関連する特定のアイテムが 1 回発生することをいいます。
- c. 「アイテム - 時間」とは、「クラウド・サービス」の利用により管理、処理される、または「クラウド・サービス」の利用に関連する特定のアイテムが 1 回発生する各時間をいいます。「お客様のコンテンツ」において、「アイテム」は文書です。文書とは、その先頭と末尾を示す文書のヘッダー・レコードとトレーラー・レコードで囲まれた有限量のデータ、または物理的文書を電子表示したものです。
- d. 「ページ」は、物理的形式または「クラウド・サービス」を管理あるいは処理したデジタル形式のいずれで作成されたかにかかわらず、印刷された場合にシートの片側に含まれるコンテンツの集まり (Web ページからの場合は PDF に変換されたもの) をいいます。

### 4.2 1 か月に満たない期間の料金

各インスタンスは、1 か月単位で請求されます。1 か月に満たないデプロイメントまたは使用は按分計算されます。

## 5. 追加条件

2019 年 1 月 1 日より前に締結されるクラウド・サービス契約書 (または同等のクラウド基本契約) については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。

### 5.1 継続的デリバリーおよびモデルの改善

#### 5.1.1 継続的デリバリー

本項は、**Standard** および **Premium** の各デプロイメントにのみ適用されます。

「クラウド・サービス」のこれらのデプロイメント計画は、お客様に対してダウンタイムを引き起こさない更新を可能にする、継続的なデリバリー・モデルに基づいて実行されます。

#### 5.1.2 モデルの改善

「クラウド・サービス」上の基礎学習モデルはその性能を向上させるために、学習に基づいて、IBM により定期的に変更される場合があります。お客様が「クラウド・サービス」上でトレーニング済みの既存モデルは、すぐに影響を受けることはありません。お客様により更新されていない場合、有効期限が切れたモデルは「クラウド・サービス」を中断することなく最新モデルに更新されます。あらゆる新規モデルのトレーニングには、使用可能な最新モデルが取り入れられます。

## 5.2 高可用性

「クラウド・サービス」は、高可用性の保護を可能にする地域内データ冗長性を提供します。IBM は、自動データ・レプリケーションを、お客様のデータベース (トレーニング・データおよびカスタム・モデル・データまたはそのいずれかを含む) に対して、追加費用なしで提供します。レプリケーションは、IBM Cloud データセンター内の地域間で利用可能なゾーンにわたって実行されます。

## 5.3 バックアップおよび復元

お客様は、トレーニング・データまたはカスタム・モデル・データに加えてお客様が作成したカスタム・モデルを含め、お客様自身のデータのバックアップおよび復元について責任を負います。お客様によるバックアップおよび復元の説明については、「クラウド・サービス」の文書をご覧ください。

## 5.4 災害復旧

「地域内の事業継続性」は、IBM Cloud データセンター内の地域間で利用可能なゾーンにわたって自動レプリケーションを活用して実行されます。

お客様は、複数の地域の「災害復旧」について責任を負います。この責任には、お客様のセキュリティ・ポリシー、トレーニング・データまたはカスタム・モデル・データあるいはその両方、およびお客様が作成したカスタム・モデルのバックアップ、復元、同期が含まれます。さらに、お客様は、地域全体にわたるルーティングもしくはロード・バランシング、またはその両方について責任を負います。お客様によるバックアップおよび復元の説明については、「クラウド・サービス」の文書をご覧ください。

## 5.5 データの破棄

本項は **Lite** デプロイメントにのみ適用されます。

IBM は、不使用の状態が 120 日を超えたお客様の「コンテンツ」(カスタム・モデルを含みます。)を破棄する権利を留保します。

## 5.6 学習前コンテンツに対するライセンス

本項は本「IBM クラウド・サービス」には適用されません。

## 6. オーバーライド条件

### 6.1 お客様コンテンツおよびデータの利用

#### 6.1.1 コンテンツおよびデータに関してお客様が許諾する権利

本項は **Standard** デプロイメントにのみ適用されます。

両当事者間の「クラウド・サービス」基本条件の「コンテンツおよびデータ保護」項にいかなる矛盾する規定があっても、以下の条件が優先します。IBM は、お客様の「クラウド・サービス」の利用によって生まれるお客様の「コンテンツ」に固有のものである結果 (以下「洞察」といいます。) や、お客様を特定できる結果を利用したり開示したりしません。ただし IBM は、「クラウド・サービス」の一環として、「コンテンツ」および「クラウド・サービス」を提供する過程で得られた「コンテンツ」に由来するその他の情報 (「洞察」を除きます。) を、調査、テスト、および「クラウド・サービス」関連のオフリングの開発のために使用します。

#### 6.1.2 フィードバック

お客様は、IBM が IBM Watson を拡張するよう提案できます (「フィードバック」)。お客様には「フィードバック」を提供する義務はなく、IBM はお客様が提供するすべての「フィードバック」を自由に使用できます。

### 6.1.3 オファリングの構成

本項は **Standard** デプロイメントにのみ適用されます。

お客様は、お客様の「コンテンツ」を送信する際に以下のヘッダーで REST API 呼び出しのヘッダーを変更することにより、「コンテンツおよびデータに関してお客様が許諾する権利」に概要が記載された目的でお客様の「コンテンツ」を使用しないように IBM に指示することができます。

```
「X-WATSON-LEARNING-OPT-OUT: 1」
```

例えば、お客様の元のリクエストが以下の場合:

```
curl -u <username>:<passwd> -H "Accept: application/json" -d <payload_data> <service_url>
```

お客様はそれを以下のとおりに変更する必要があります。

```
curl -u <username>:<passwd> -H "Accept: application/json" -H "X-WATSON-LEARNING-OPT-OUT: 1" -d <payload_data> <service_url>
```

お客様がお客様の REST API 呼び出しのヘッダーを変更した場合、IBM は、「クラウド・サービス」の将来のプロビジョニングにおいてその指示に従い、当該送信に関連するお客様の「コンテンツ」を使用しないものとします。ただし、IBM Cloud の「サービス記述書」に従って別途許可される場合は除きます。ヘッダーは、データ送信の都度、変更しなければなりません。

### 6.1.4 トレーニング用データ

両当事者間の本サービス記述書の「データ処理および保護データ・シート」項および「クラウド・サービス」の基本条件の「コンテンツおよびデータ保護」項において参照される、「データ・シート」に矛盾する規定があっても、以下の条件が優先します。

「データ・シート」は、「クラウド・サービス」内で一般的に処理される可能性のある「個人データの種類」および「特殊カテゴリーの個人データ」を定めています。お客様は、本「クラウド・サービス」に含まれる「個人データの種類」、「特殊カテゴリーの個人データ」、またはその他の「個人データ」(保護医療情報(「PHI」)およびペイメント・カード情報(PCI 規制対象コンテンツ)を含みます。)を、トレーニング用のデータとして、または本「クラウド・サービス」およびカスタム・モデルのエンリッチメントのために使用してはなりません。